

- 公私の協働で紡ぐ縁 - つながりを重ね つながり続けるということ

2024/8/5 地域共生社会の研修 広域編 にて

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

つながり若者センター

コーギータウン推進課

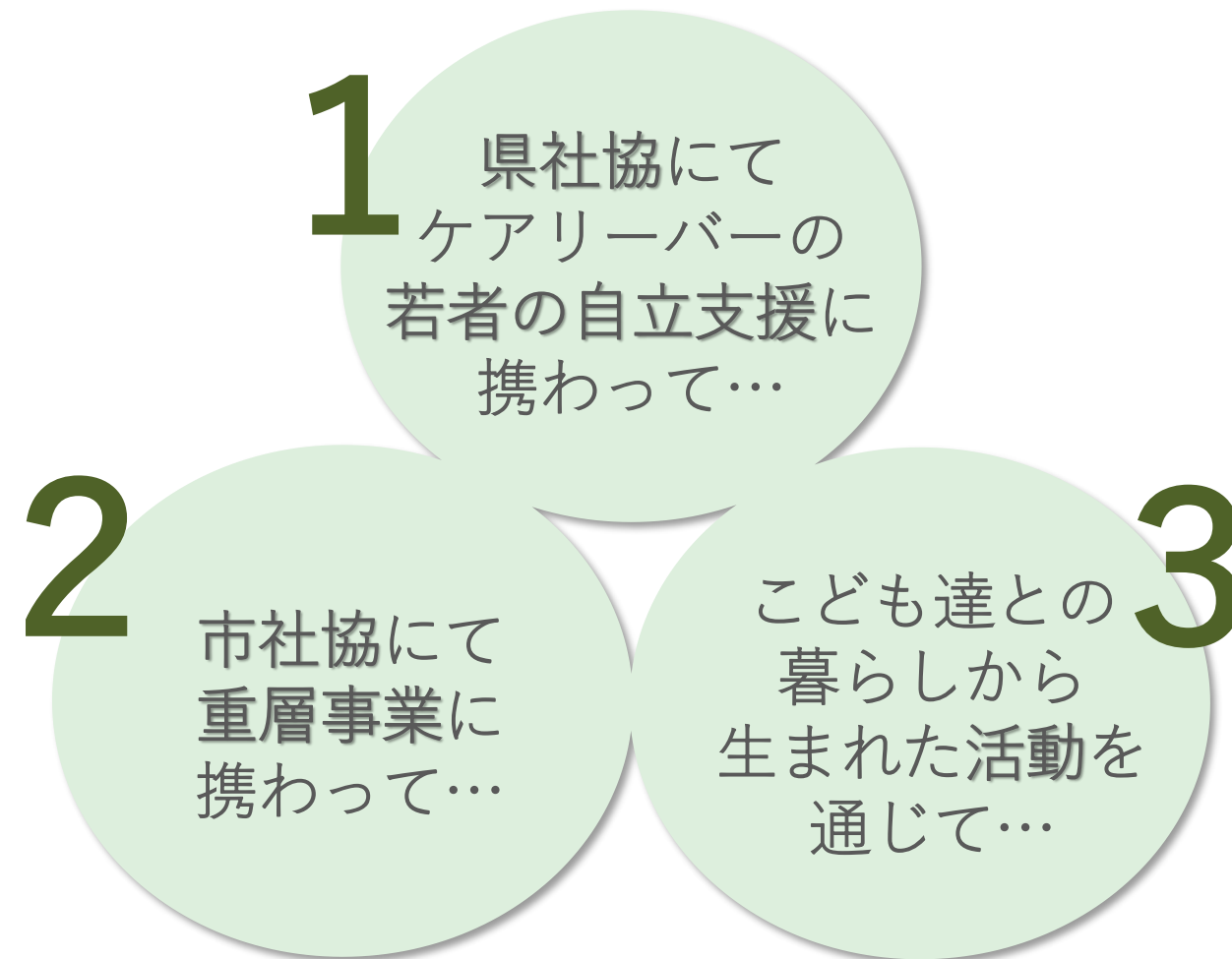
田中 裕子

プロフィール



- ▶ 龍谷大学社会福祉学科卒業 社会福祉士
- ▶ 滋賀県社会就労事業振興センター SELPコーディネーター
- ▶ 滋賀県子ども家庭相談センター 児童相談員
- ▶ 出産を機に退職、専業主婦に
4人の子どもたちとの暮らしの中での気づきや出逢いから
生まれた活動として…
 - 《ごはん大すき！にぎにぎの会》
 - 《ながはま冒険あそび場》
 - 《子どもの居場所まんま(子ども食堂)》を始める
 - 《お家ごはんコンシェルジュ たなかゆうこ》として開業
- ▶ R1.5- 長浜市社会福祉協議会入職 **多機関協働事業**に従事
- ▶ R5.4- 長浜市しょうがい福祉課発達支援室入職 こども発達相談
- ▶ R6.3- 滋賀県社会福祉協議会入職
 - つながり若者センター:社会的養護自立支援拠点事業に従事
 - 兼任:コージータウン推進課

本日のおはなし



社会参加の応援については、
専門職の実践に加えて、さまざまな立場の方々との重なりを広げながら
応援チームづくりをすすめる必要があると感じます。

つながり続け、つながりを重ねていく支援について
県社協での個別支援や、市社協での重層事業における実践に照らして
お話しさせていただきます。

滋賀県社会福祉協議会 滋賀の縁創造実践センター ひたすらなるつながり の実践について

理念とその歩み

▶ 滋賀の先人に学び、理念を継承

「人間が本当に人間を理解していこうとするような“ひたすらなるつながり”の世界を実現していこう」(糸賀一雄氏 昭和38年)

▶ 本会の経営理念

だれもが、「おめでとう」と誕生を祝福され、「ありがとう」と看取られるまで人間的共感にねざした共生社会の実現のため、「ひたすらなるつながり」の理念のもと、役職員一丸となって不断の地域福祉実践を行うものとする。

▶ 平成29年9月「滋賀の縁創造実践センター」設立 - 公私の協働により展開

民間福祉関係者が枠を超えてつながり、地域住民とともに、社会とつながっていない人々の縁を紡ぎなおし、生き生きと地域のなかで暮らせるよう支援するしくみと実践を県下にくまなく作っていく。

県域での個別支援に携わって…

つながり若者センターとは

- ▶法的には「社会的養護自立支援拠点事業」として実施 [都道府県の業務]
- ▶対象：児童養護施設等を退所後において社会的な自立支援が必要な者等
- ▶事業内容：相互交流の場の提供/支援計画の策定/相談支援
- ▶2つの拠点：マザーボード(守山市) / コーギータウン(彦根市)
- ▶職員体制：県内児童養護施設等からの出向職員 + 県社協職員

その歩み

- | | |
|-----------|---------------------------------|
| ▶平成26年9月 | 縁創造実践センター 要養護児童の自立支援小委員会発足 |
| ▶平成28年4月 | 児童養護施設等で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり事業開始 |
| ▶平成31年3月 | 「アフターケア事業」の創設に向け検討会発足 |
| ▶令和 3 年3月 | 「滋賀県地域養護推進協議会」設立 |
| ▶令和 3 年4月 | 「滋賀県地域養護推進事業」を受託、事業開始(マザーボード) |
| ▶令和4年12月 | 県内2拠点での実施をスタート(コーギータウン開設) |
| ▶令和 6 年4月 | [社会的養護自立支援拠点事業]として実施(改正児童福祉法) |

県域における個別支援

若者特有の課題：職や住まいを転々として居所が定まりにくい

- ▶ 県内を転々としても、居住地に関わりなく支援が可能
- ▶ 県外への転出もあり、県をまたいだ連携も必要
今後、拠点事業同士のネットワークづくりも目指したい

強み：居場所事業にも県内各地から参加していただけます

- ▶ 本人のニーズに応じてアウトリーチ型の居場所事業の実施や駅前立地を活かして外出練習の足がかりとしての参加も

強み：必要に応じて市域をまたいだ様々な主体との協働が可能！

- ▶ 県社協・縁のこれまでの実践の積み上げとネットワークを活かした事業の実施(地域養護推進協議会/平和堂との連携/ハローわくわく仕事体験等)
今後、内部連携もさらにすすめていきたい

就労支援・参加支援について

逆境体験を持つ若者一人とのつながりづらさや働きづらさある方も

- ▶ 相談支援で相談員との関係性を築いたり
居場所事業で安全な集団や場での活動を重ねることで
少しずつ力を蓄えておられることを感じます。
例) CTの開設から約2年…
居場所利用のみの方が「話を聞いて欲しい…」
- ▶ 個々のニーズに応じて社会参加を応援するチーム作りが必要
- ▶ ご本人がお住まいの市町の重層事業：とくに参加支援事業との
連携・協働の中ですすめることも！

企業さん方からは
いろんな福祉分野の人が
バラバラに言うてくる…という声も！

今後の課題
これからすすめたい！

福祉分野における就労支援の枠組みは多種あります！
各分野における就労支援の蓄積の共有や協働のあり方を模索していきます！

就労支援のいろいろ

今後、協働のあり方を模索

【労働】
ハローワーク

【ケアリーバー】
つながり若者センター

【困窮】
就労訓練事業
就労準備支援

認定事業所
市内企業

【しょうがい】
障害者就業・生活支援センター
就労移行事業所
就労継続支援A型・B型
ユニバーサル就労 等

圏域内企業
中小企業家同友会
(ユニバーサル委員会)

【福祉の人材確保】
福祉人材センター

【再犯防止】
保護観察所
保護司 等

協力雇用主

【若者】
地域若者サポートステーション
子ども・若者総合相談センター

【教育】
青少年センター
(無職少年対策指導員)

コージータウンにおける連携・協働の取組み

コージータウンは・・・

JR彦根駅前の商業施設、アル・プラザ彦根の4階・6階に立地
駅近の利便性の高さ、商業施設の来やすさ、カフェの居心地のよさ
という持ち味を生かし、次の①②を目標にさまざまな事業を生み出します
①「ひたすらなるつながり」の具現化
② 福祉の出来事を地域の出来事にするための様々な発信の拠点

4F アル・プラザ彦根

アクティブシニア
の学びと活動の場

若者の
つながりと
相談の場

会議室の貸館

介護と福祉の
キャリア支援の場

ごっちゃん事業

ごちゃまぜの協働で新たな事業を生み出す！
【県全域の出逢いのプラットフォーム】

6F

イベント時だけでなく
日常的なつながり作り
を意識して企画！

つながか
COZY食堂

女性の
つながり
サポート事業

アクティブシニア
のサークル活動

COZY
TOWN
cafe

COZY
文化サロン

おやこサロン
(児家セン)

コージータウンの強みを活かした個別支援

▶ 商業施設内にある相談支援機関

明るくオープンな相談スペースなど、相談や居場所参加への敷居を低くできるよう工夫しています

▶ カフェでのコラボ事業やごっちゃ事業とのにじみ合いによる支援

社会参加の応援の入口として支援者以外との交わりを持てるよう、若者が他事業のお手伝いをするなど“関わりしろ”をコーディネートします
例）若者がカフェの手伝い：ドリンクを4階会議室へ配達・提供します

▶ 他の支援機関との連携

他の支援機関がサポートしている方の参加支援を応援します！
支援者とともに外出練習としてコージータウンやカフェへ出掛けてきてくださった方に、「よう来たね！」と声かけのお手伝いも♪

コージータウンが様々な活動や場のごちゃまぜの場であることで
出逢いのプラットフォームとなっています！

互いのにじみ合い・重なり合いにより支援を届け、さらなる協働の創発へ

重層事業の枠組みを活用してすすめる 多様な主体との協働 - 長浜市の場合 -

こうした身近な協働は…

市域でこそ創発がすすみやすい領域でもあるのではないのでしょうか。

そして、重層の枠組みにより、すすめていけることがあると実感します。

▶ 要対協管理の家族、子も不登校で孤立が心配…

不登校の子どもが親以外の大人に出会える機会として、地域の子ども食堂への参加をコーディネートするため、要対協ケース会議に加えて、重層事業の支援会議を別途開催し必要な情報のみを共有。つながり方を検討した事例があります。

▶ 支援者がなかなかつなげられず、地域での孤立が心配…

家族や本人に支援ニーズがなく、近所の方が見守りを続けている事例を地区担当コーディネーターが把握。支援者が住民同士の支えあいをバックアップしながら、つながり方を検討。

専門職の積み重ね×住民同士の支えあい
その協働を重層事業の枠組みで後押しします！

重層事業の枠組みにより取組みが進んだ事例

－ 本人にニーズがない場合の支援 －

▶ 要対協との連携

要対協管理の終了後にも支援継続が望ましいが
本人や家族に支援ニーズがない場合にもつながり続けることを模索
[要対協ケース会議と支援会議を共催]

▶ 教育と福祉の連携

中学卒業時に進路が決まらず、ひきこもりが心配されるが
本人や家族に支援ニーズがない場合の卒業後の支援について検討
[卒業年度の秋ごろに情報提供を受け、支援を検討]

▶ 高校との連携によるひきこもりの予防的な支援の実施

健康不安のある生徒が不登校により中退が心配されるケースについて
学校の関わりを市の保健師・困窮担当者がチーム支援に加わり
学校がどのように本人へ関わりを持つとよいか2次支援として共に検討
⇒無事に卒業！求職活動を参加支援で応援し、早期に就職！

▶ サービス利用につながるまでの伴走支援

伴走型支援について長浜市の整理

参考資料

相談内容や課題に応じた
支援機関(各課)による”伴走支援“

居場所や就労につながらない人への
動機形成を支える”伴走支援“

- 健康福祉部の連携による支援 -

- 福祉サービスの利用 -

医療・保健分野の支援

福祉分野の支援、就労支援

1

2

3

受け止める

①で受け止めた後、つながる動機形成を支える伴走支援②のマンパワー不足が課題
支援者につながり、福祉サービスの利用以降の伴走支援③は縦割り支援の中で
一定枠組みが確立している。一方で、福祉サービスにつながる動機形成を支える
伴走支援②の機能を担うための体制整備が必要。

家族を真ん中に置いた支援会議

本人やご家族にニーズのない中からつながりをつくっていくこと
また、つながり続けるチーム支援を行っていくために…

専門職の協働体制をつくり、
さまざまな立場の方々との重なり、応援団を広げていくために…

大事になるのが家族まるごとの視点で行う支援会議です！

- * 家族それぞれの支援者が
情報を寄せ合う
- * 一家全体の情報を整理し直し
チームで見立てを深める

家族ひとりひとりを見る



一家全体へ
一家から見える景色へ
視点が変化

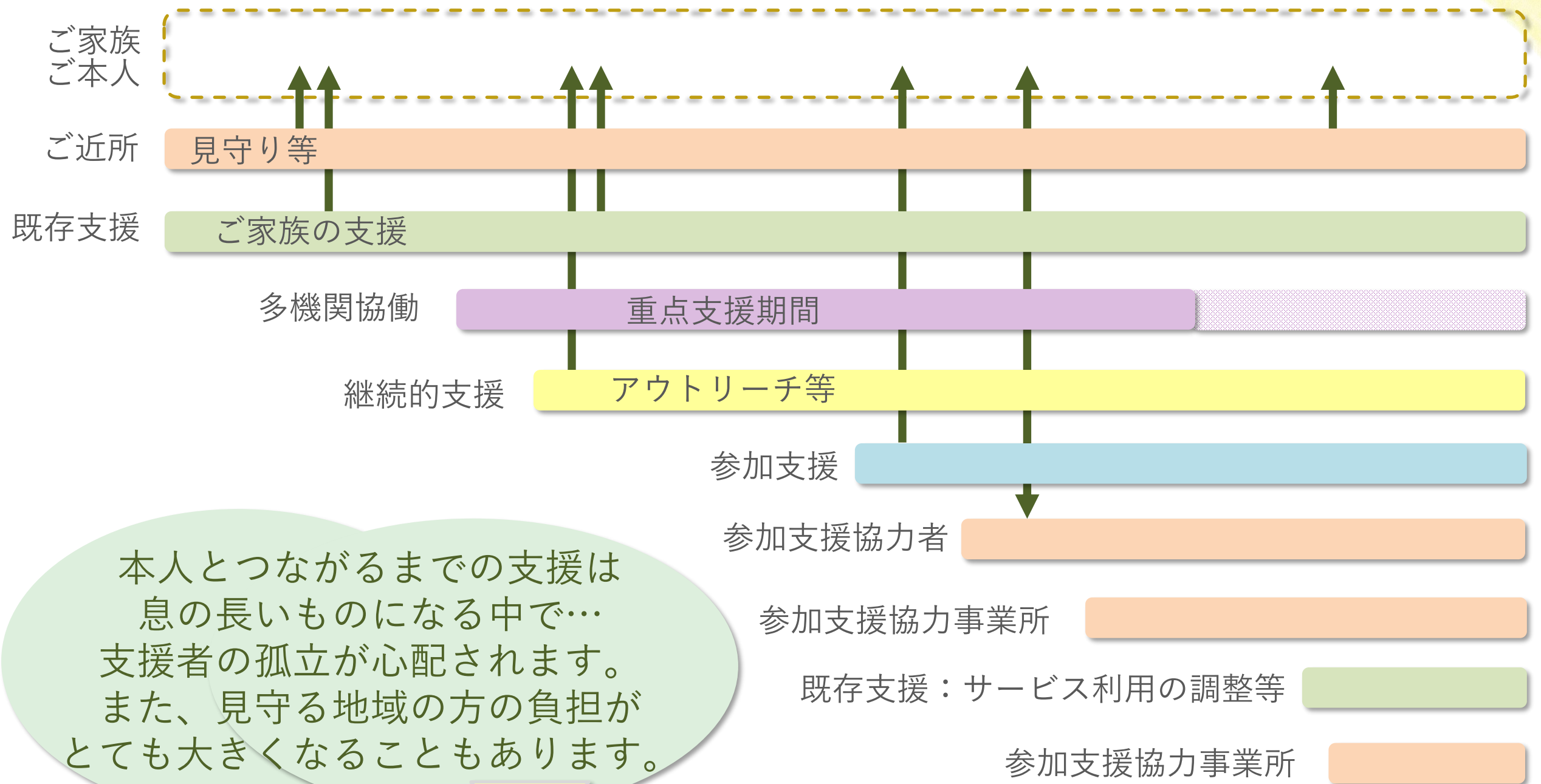
家族にとっての
ニーズは??

チームで
思いを馳せる！

同じ所へ向けて
チームで力を寄せ合える！
できる/できない
の思考ではなく…

家族のニーズを
起点に…
必要な支援を
検討・共有！

支援を重ねていくということ

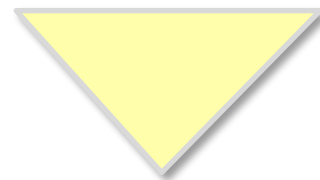


チームでつながるタイミングを待つこと、
また応援者が重なり合いながらつながり続ける体制づくりを行うことが、
とても大事であることを実感しました。

活動の中で…

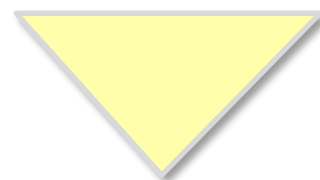
4人のこども達との暮らしの中で **食べる** **遊ぶ** を大事にしたい！

同じ想いをもつママ友との出逢いからそれらを活動に



活動に自らの子育てを助けられてきたことを実感します

大事にしたいことを大事にし続けるモチベーションを保つことができた！
周りの方々の声に自分のこどものステキなところを気付かせてもらえた！
こども達同士のやりとりを制止せず見守り合う気持ちのゆとりが持てた！



活動の担い手として支える側であり、支えられる側でもありました

子育ての入り口で【人とつながってよかった！】と感じていただけたら…
ということが活動におけるひとつの目標に

人とのつながりの中で傷ついた方が、その心を癒やすのも
また人とのつながりの中でこそなのだと感じます

その回復の過程はとても息の長いものになります
そこに寄りそう支援者が孤立しない・・・

地域に任せきりにしない・・・

チームで支える体制を
公私の協働で紡いでいきたいと思います

県域だからできること
市域だからできること
重なり合い、にじみ合いながら
サポートを届けていく実践をみなさまとご一緒に・・・

本日のご縁に感謝して

2024/8/5 田中裕子

長浜市の重層事業

支援者への
伴走を担当



相談支援
包括化推進員

長浜市は…

パターン

①

[組織等の体制]

・既存の包括的相談事業者とは別に、社協に調整業務を行う機関を整備

[多機関協働を整備する機関の機能]

・相談の受け止め、直接的な支援業務は既存各分野の相談支援機関が担当

・多機関協働は、課題が複雑化・複合化した事例に関する関係機関間の役割の整理や支援の方向性のまとめなどの調整機能を果たす

包括的相談支援事業者・相談窓口業務との関係			想定される多機関協働としての機能・職員配置等
独立機関 (包括的相談支援事業者とは別の機関として設置)	①	相談窓口は持たずに、各調整・バックアップ機関として設置	・相談の受け止めなど直接的な支援業務は既存各分野の相談支援機関が担当。 ・多機関協働は、複雑化・複合化した事例に関する調整機能に特化し業務を行う。
	②	分野等を問わない一次相談窓口機能も含めた機関として設置	・多機関協働は、一次相談窓口や包括的支援事業者が受けた相談のうち、複雑化・複合化した事例に関する調整機能を果たす。 ※ 相談窓口は、相談の受け止めのみを行う場合や、各分野の支援対象とならない事案について、直接的な支援業務も行う場合も想定される。
既存機関併設 (包括的相談支援事業者に多機関協働の機能を付加)	③	統合型(ワンストップ)相談窓口を設置	・多機関協働機能を担う専任職員を配置する場合や、各分野の相談事業を統括する職員に多機関協働の機能を持たせる場合などが考えられる。
	④	包括的相談支援事業を実施するいずれかの機関に付加	・多機関協働機能を担う専任職員を配置する場合や、総合相談窓口として相談の受け止めの業務も行いつつ、調整業務も行う場合も想定される。
	⑤	特定の機関ではなく、包括的相談支援事業を担う機関のそれぞれに、連携・調整機能を付加	・包括的相談支援事業を行う機関において、それぞれ連携担当職員を定め、当該職員を中心にして多機関協働の機能を担う。

長浜市の重層的支援体制整備事業の全体像

参考資料

重層的支援体制整備事業

--- ①～⑤を一体的に取り組みます ---

④地域づくり

孤立を防ぎ、誰もが活躍できる
場づくり・地域づくりに向けた支援

一般介護予防事業
生活支援体制整備事業
[長寿推進課]

しょうがい者
地域支援生活支援事業
[しょうがい福祉課]

地域子育て
支援センター運営事業
[子育て支援課]

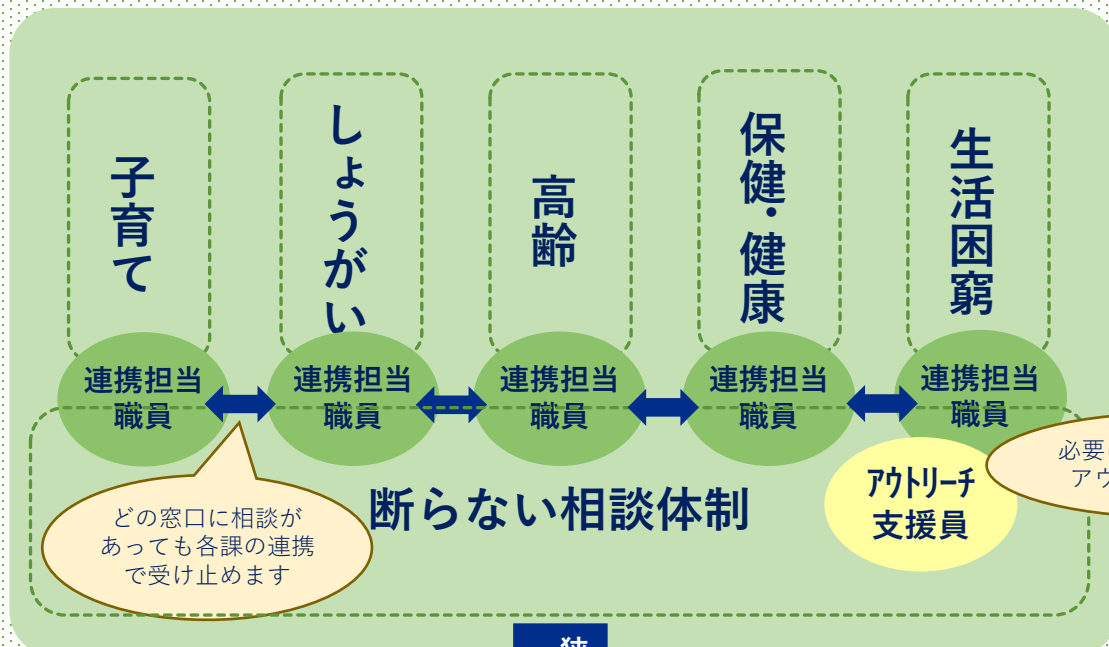
志でつながる支えあいの
地域づくり事業
[長浜社協が受託]

サロン
サークル活動
暮らし支え合い検討会
コミュニティ等

居場所をはじめとする
多様な地域の場

①包括的相談支援

世代や属性を超えた相談を受け止め必要な支援につなぐ



セーフティネットワーク会議
[暮らしにまつわる関係課]

学びの場・活躍の場
[市民協働センター]
[生涯学習課]

②アウトリーチ等継続的支援

訪問等により継続的につながり続ける支援

必要に応じて各課より
アウトリーチします

訪問・相談

アウトリーチ
支援が必要



⑤多機関協働

[長浜社協が受託]

複雑化・複合化した事例や狭間の課題の解決に向けて
横断的な協働のコーディネートを行い支援を調整する

狭間の
課題の
相談支援
包括化
推進員

個別支援連携会議

支援者支援会議

重層的支援会議

プラン作成

○課題の整理
○役割分担
○適切な機関につなぐ

モニタリング
支援体制の
全体の

課題が整理され
支援の見通しが
ついたところ
多機関事業の
重点支援期間
を終結

③参加支援事業

[長浜社協が受託]

社会とのつながりを
作るための支援

参加支援が必要

プランの
実行

実施の
支援の

モニタ
ング

終結

個別課題・地域課題の解決

①包括的相談支援

②アウトリーチ等継続的支援

市

③参加支援

④地域づくり

⑤多機関協働

社協

重層事業を活用したひきこもり支援の事例

参考資料

0～10の順にご覧ください

